

令和元年度 医療安全監査後の改善報告

令和 3 年 2 月 17 日
千葉県精神科医療センター

千葉県精神科医療センター医療安全監査報告書（令和元年 12 月 26 日）において、指摘を受けた事項について、改善状況を報告します。

1 年度目標に医療安全を定めていない

指摘事項①

病院理念に安全は入れられたが、病院の年度目標に医療安全を定めておらず、それを 3～5 つほど定めて、各部署が病院目標の中から選択し現場の目標とする仕組みが必要。

（対応状況）

- 令和 2 年度は各部署で病院全体の医療安全の年度目標を立案し、リスクマネジメント部会での討議を経て医療安全管理委員会に諮り、3 つの年間目標を設定した。
- 各部署は 3 つの目標より 1 つを選び、関連する当該部署の医療安全目標を定めた。

2 インシデントレポートの意義について組織全体で議論し学ぶ

指摘事項②

上層部の医師が医師の報告割合の必要性について疑問を呈したため、報告数ありきでなくインシデントレポートの意義について、組織全体で議論し学ぶと良い。

（対応状況）

- 令和元年 12 月 21 日の千葉県立病院合同医療安全研修会に当院からも上層部医師を含め多くのリスクマネージャーが参加した。この講演会后、医師およびその他の職種からのインシデントレポート提出数が増加している。（下表有色部分）
- 職種別インシデントレポート提出率は次のとおり。

職 種	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
報告数	1145 件	1091 件	1313 件	1090 件(4~1 月)
看護師	85.2%	86.9%	79.3%	80.3%
医師	3.8%	4.8%	7.4%	7.2%
その他の職種	11.0%	8.3%	13.3%	12.5%

3 医療安全研修の参加回数の把握

指摘事項③

医療安全研修の職員 1 人当たりの平均参加回数を把握してほしい

(対応状況)

- 令和 2 年度は新型コロナウイルス感染防止のため、医療安全研修は 2 回 e ラーニングで実施した。職員の参加率は 84.9%、1 人当たりの平均参加数は 1.7 回であった。

4 薬剤部の小さな改善の実践と繰り返しを求めたい

指摘事項④

薬剤部の混雑が特定日に集中することは改善されていない。病棟薬剤師の配置も進めてほしい。

(対応状況)

- 新型コロナウイルス感染流行の影響で外来患者の受診間隔が延長した結果、外来患者数が減少し、薬剤業務が特定日に集中することにも改善がみられる。
- 病棟薬剤師の配置はいまだ実現していないが、外来調剤業務が減ったことにより、入院患者の服薬指導の要望に応じたり、他職種ミーティングに参加する余裕が生まれている。

5 患者誤認防止手順について

指摘事項⑤

患者誤認防止手順について、県立病院での統一が望まれる

(対応状況)

- 令和 2 年に県立病院共通の手順が出された。一部修正し当院の状況に即した患者誤認防止手順を作成し、ポケットマニュアルの当該部分の差し替えなどにより周知を行い活用している。

6 転倒転落防止指針の文章化が望まれる

指摘事項⑥

転倒転落防止指針の文章化が望まれる

(対応状況)

- 今年度は指針作成するに至らなかった。
- 現場では、転倒転落防止の対応策に沿って実施している。精神科医療の特徴をふまえ、令和 3 年度に全体を網羅したマニュアルを作成する。

7 身体拘束のオン・オフについて

指摘事項⑦

身体拘束のオン・オフについて他職種での定期的ミーティングの取り決めがない

(対応状況)

- 幹部職員で上記について検討したが、身体拘束中の患者は精神保健福祉法に則り精神保健指定医が1日2回の診察を行っており、拘束の継続についても診察の都度看護師と見直しし、漫然と続くことがないようにしている。身体的拘束の適切性について、週1回の全体カンファレンスでのチェックのみを行っているわけではなく、本指摘事項については新たな対応は不要と結論した。

8 インフォームド・コンセントの保証が大きな課題である

指摘事項⑧

インフォームド・コンセントの保証が大きな課題である。IC委員会はできたばかりで具体的な活動はないため、委員会活動を活発化してほしい

(対応状況)

- IC文書のひな形は監査時の4種類（うち統合失調症1、気分障害1）に外来アウトリーチ支援に関するIC文書が増えただけであり、IC委員会への患者関係者の出席も実現していない。
- IC文書は、新たに7つ程度の精神障害についてのひな形を作成中である。
- ICについての患者関係者の意見を聞く場として、患者の家族に対する心理教育（月1回実施）において、当院でのICに関するインタビューやアンケートの実施を検討している。